

株式会社SHOEI 決算説明資料（2025年9月期）

2025年11月14日



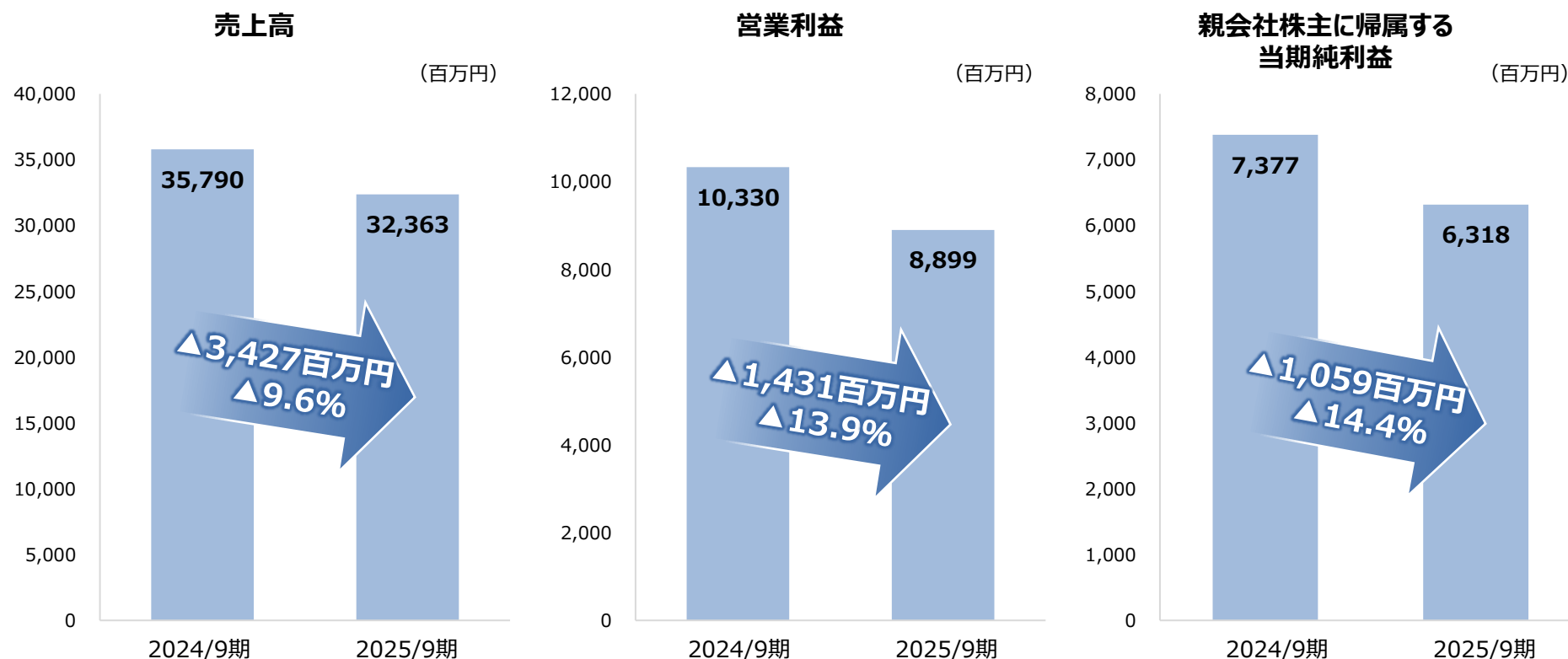
1. 2025年9月期決算実績

① 決算実績概要



単価が上昇したものの、各地域で販売数量は減少。生産数量の減少に比べ製造原価、広告宣伝費等の販売管理費等が増加したことから、減収減益となりました。

売上高/営業利益/親会社株主に帰属する当期純利益



期中平均為替レート
(2025年9月期)

US\$ = 149.63円
(前年比▲0.65円)

EUR = 164.34円
(前年比+2.11円)

海外子会社換算レート
(2025/06末)

EUR = 169.66円
(前年比▲2.67円)

ROE 26.0% ▶ 20.5%

1. 2025年9月期決算実績

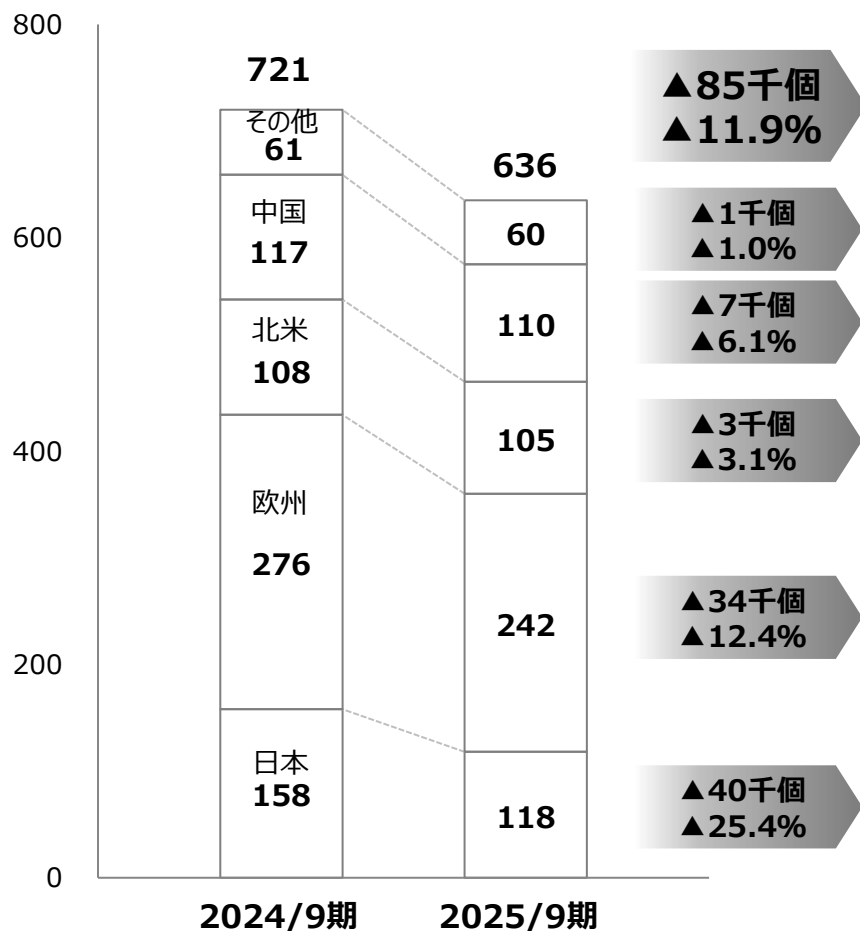
②地域別販売個数・売上高（連結）



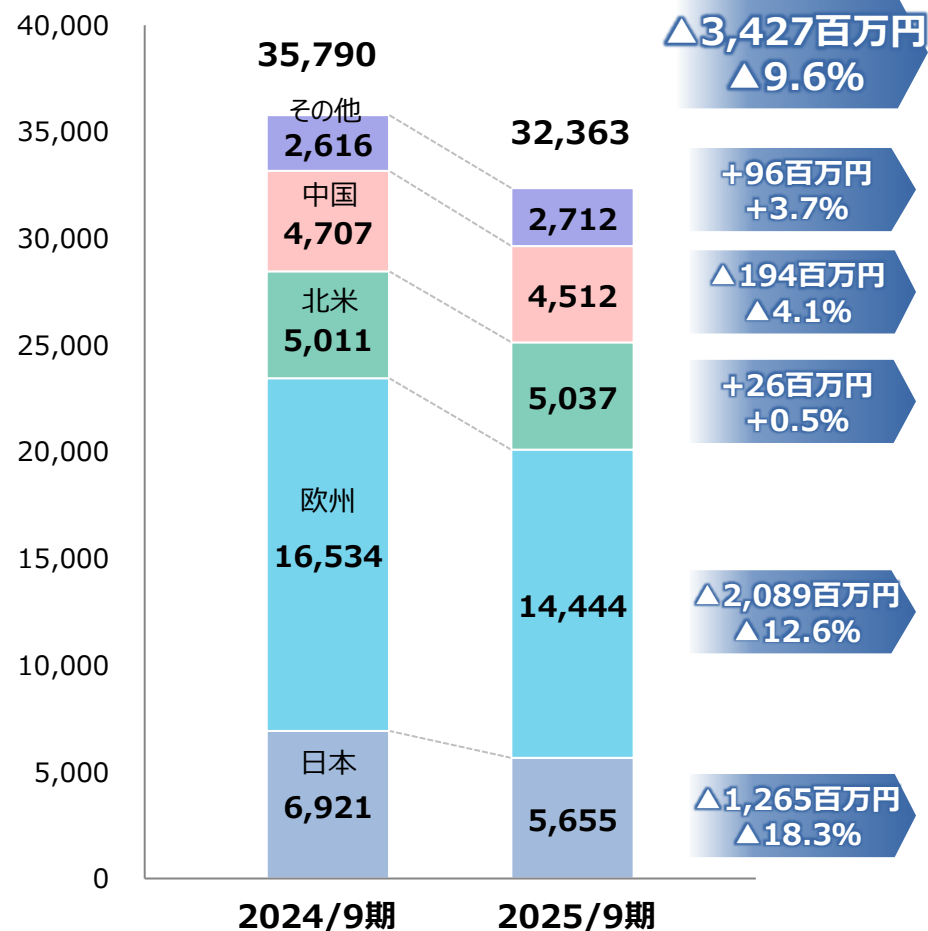
販売数量は、過剰な流通在庫の調整が継続した日本、主力商品のモデルチェンジがなかったことによる反動影響があった欧州における減少等を主因に前年比11.9%減となりました。

地域別販売個数・売上高（連結）

販売個数（千個）



売上高（百万円）



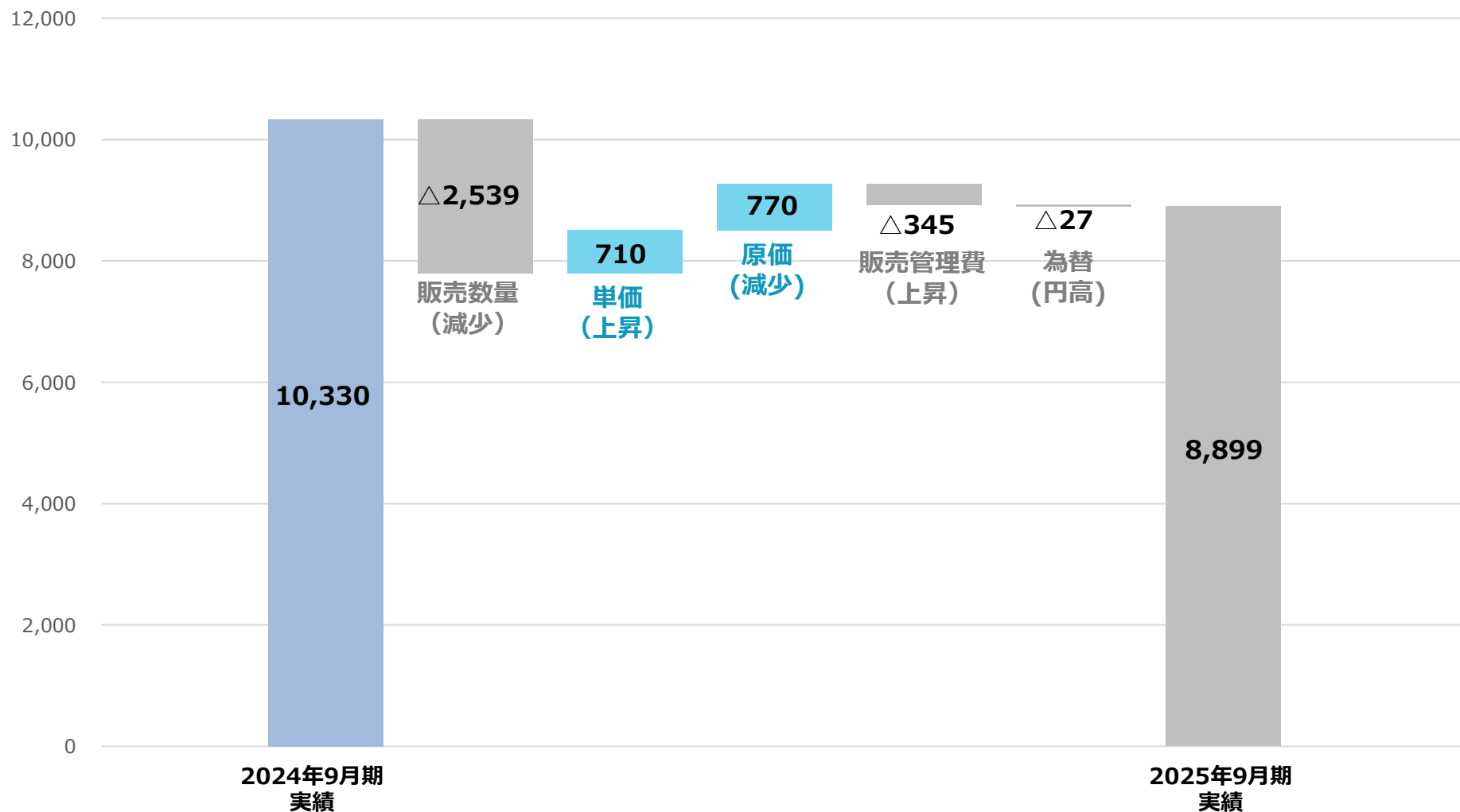
1. 2025年9月期決算実績

③連結営業利益増減要因（実績、前年比）



販売数量が減少したことを主因に、営業利益は前年比で減少となりました。

（単位：百万円）



1. 2025年9月期決算実績

④貸借対照表（B/S）（連結）



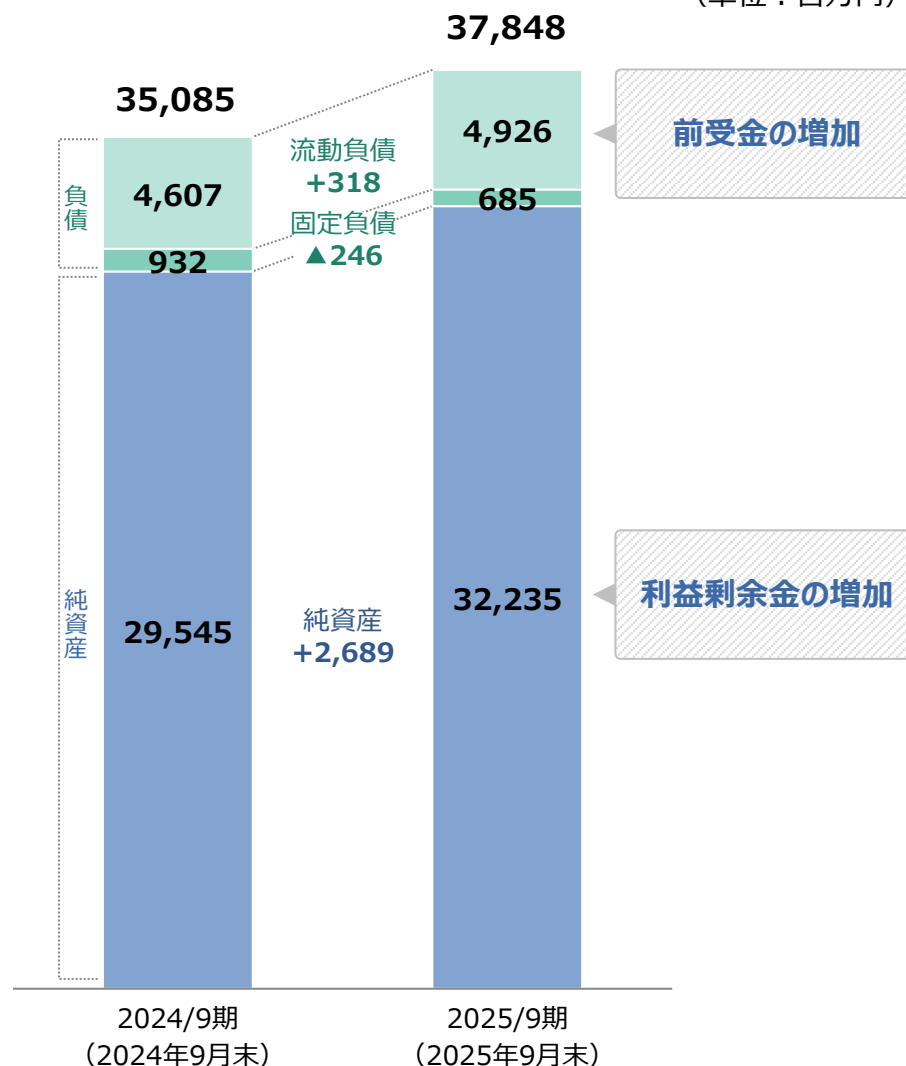
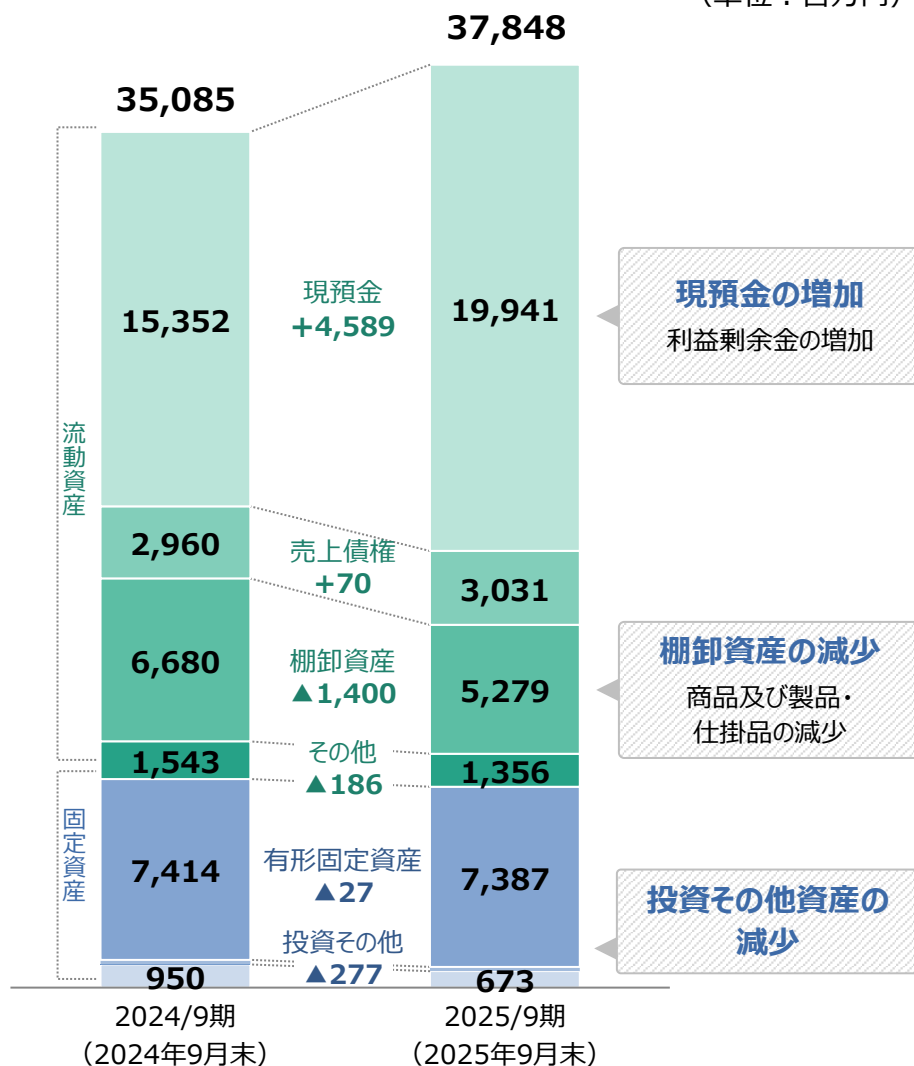
自己資本
比率 84.2% ▶ 85.1%

資産

負債/純資産

(単位：百万円)

(単位：百万円)



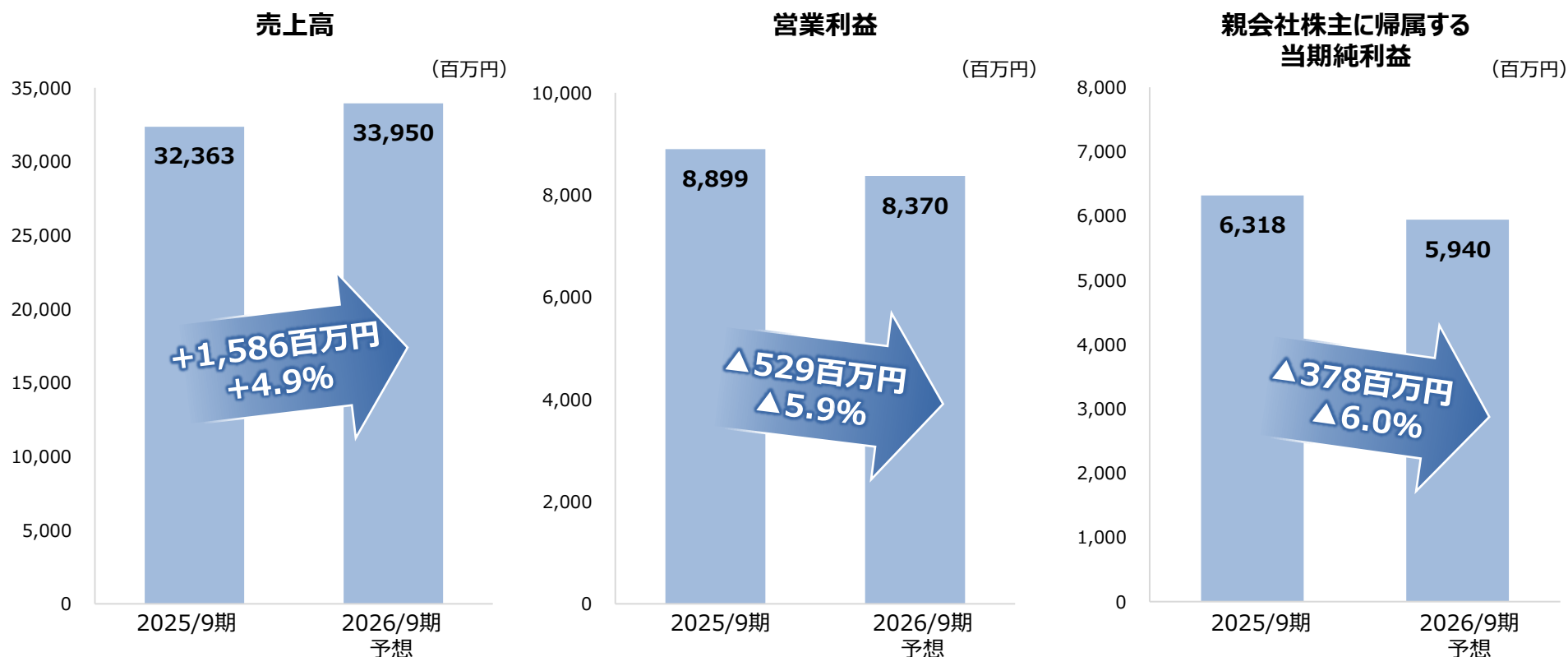
2. 2026年9月期業績予想

① 売上・利益予想



販売数量が前年比増加することから、売上高は4.9%の増収となりますが、営業利益は前年比5.9%、当期純利益は同6.0%の減益を予想しております。

売上高/営業利益/親会社株主に帰属する当期純利益



為替感応度*

US\$: 30.6(百万円)
EUR : 72.3(百万円)

US\$: 22.8(百万円)
EUR : 43.1(百万円)

US\$: 15.9(百万円)
EUR : 41.6(百万円)

*US\$とEURに対して円が1円動いた場合の影響額
目安であり、保証ではありません

想定為替レート US\$=¥145.00 EUR=¥174.00

2. 2026年9月期業績予想

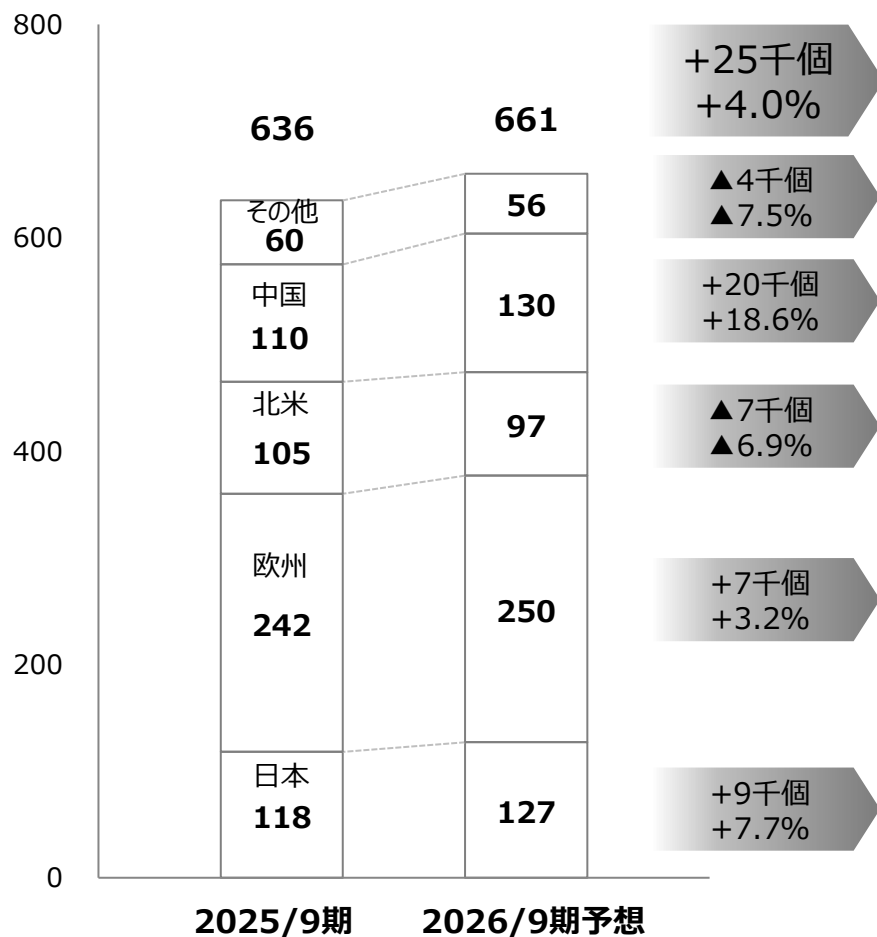
②地域別販売個数・売上高予想（連結）



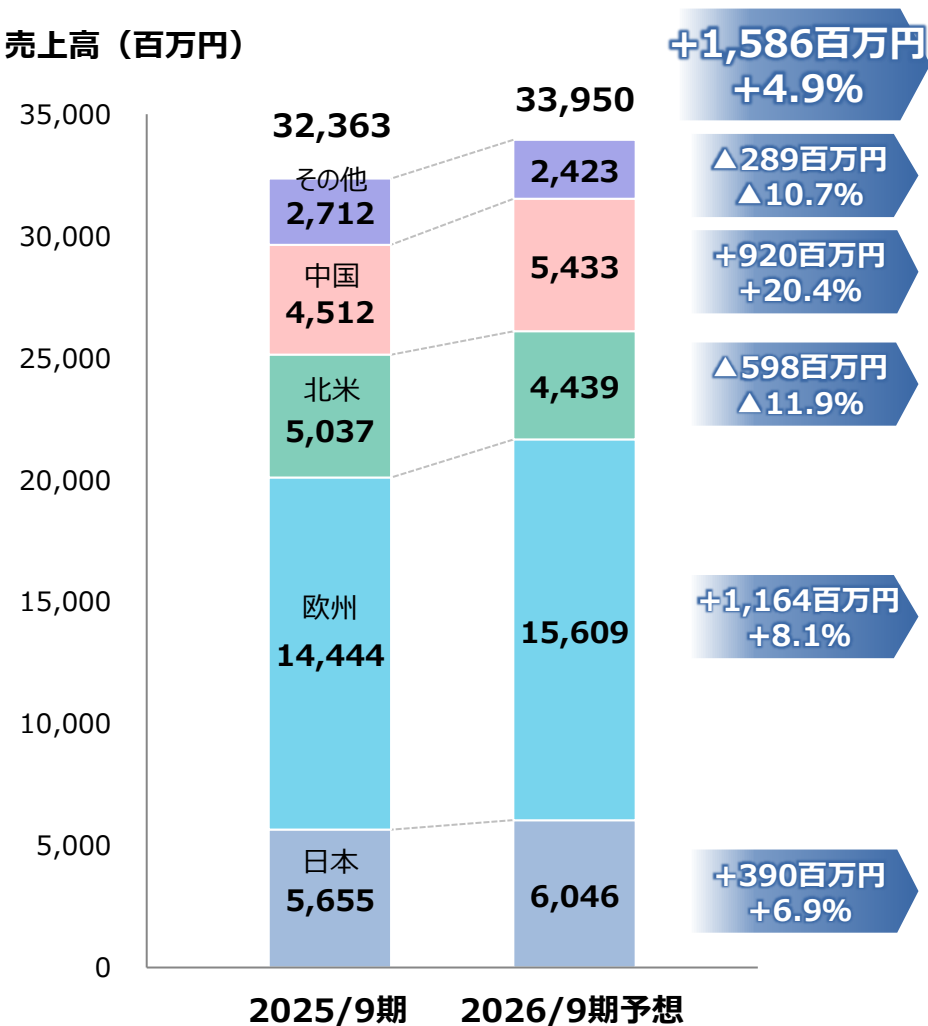
販売数量は、日本・欧州・中国で前年比増、全体では同25千個の増加を見込んでおります。販売数量の増加により、売上高は+1,586百万円となる見込みです。

地域別販売個数・売上高（連結）

販売個数（千個）



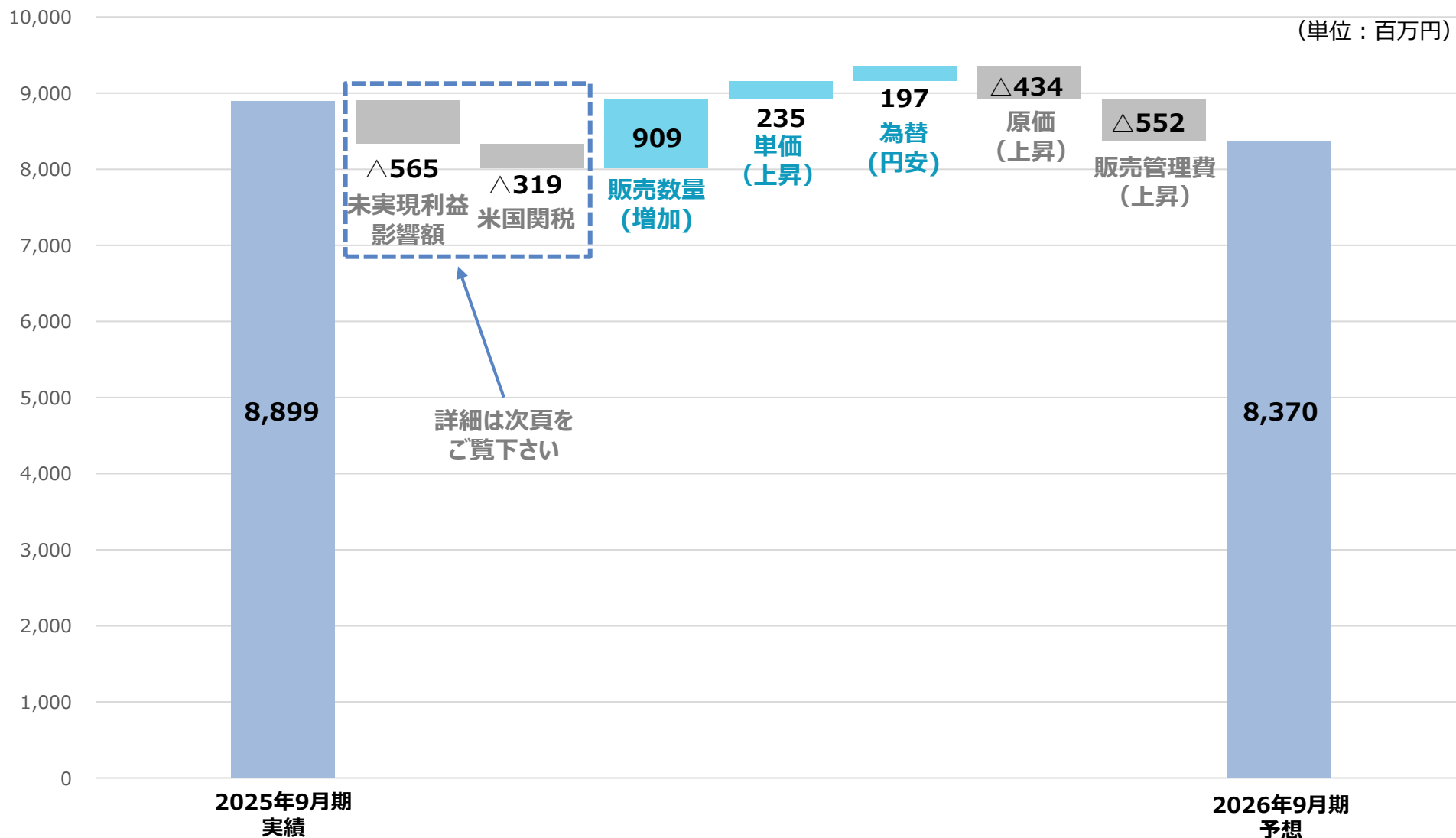
売上高（百万円）



③-1 連結営業利益増減要因（予想）



販売数量の増加及び単価の上昇が見込まれるものの、未実現利益影響額、米国関税の影響、販管費の増加等を主因に、営業利益は前年比減少となると予想されます。



2. 2026年9月期業績予想

③-2 連結営業利益増減要因（予想）



営業利益（予想）の前期比マイナス要因のうち、未実現利益影響額及び米国関税の影響は第70期に限定的なものです。

未実現利益影響額について

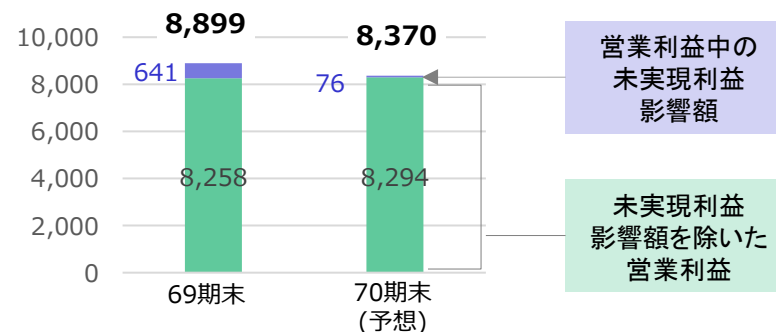
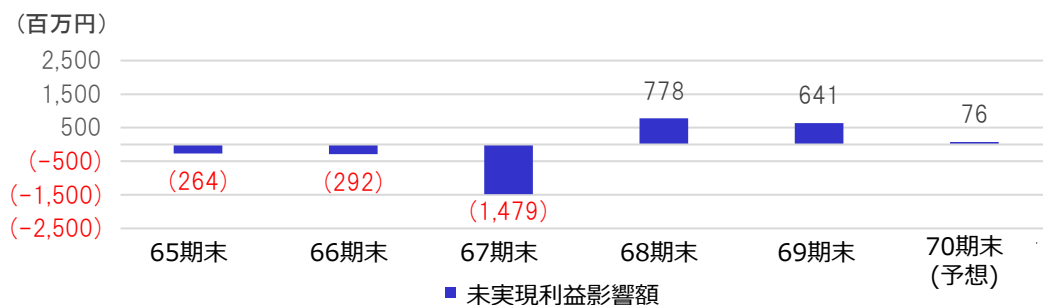
主要子会社在庫数量の推移



68期及び69期は、67期で膨らんだ欧州子会社の在庫を減らしていった結果、未実現利益影響額がプラスに転じ、営業利益にプラスの影響を与えました。

一方、70期は欧州子会社の在庫がほぼ適正範囲で安定したため、未実現利益影響額は大きく減少する見込みです。

未実現利益影響額の推移



米国関税について

- 2025年9月に発表された米国大統領令に基づき、ヘルメットに対しては相互関税率15%が課されることが決まったため、現地代理店と対応について協議を進めております。
- 当社への影響額については、現在の協議内容を踏まえて約3億円と試算し、第70期予算に組み込んでおります。

④ 予想される機会とリスク

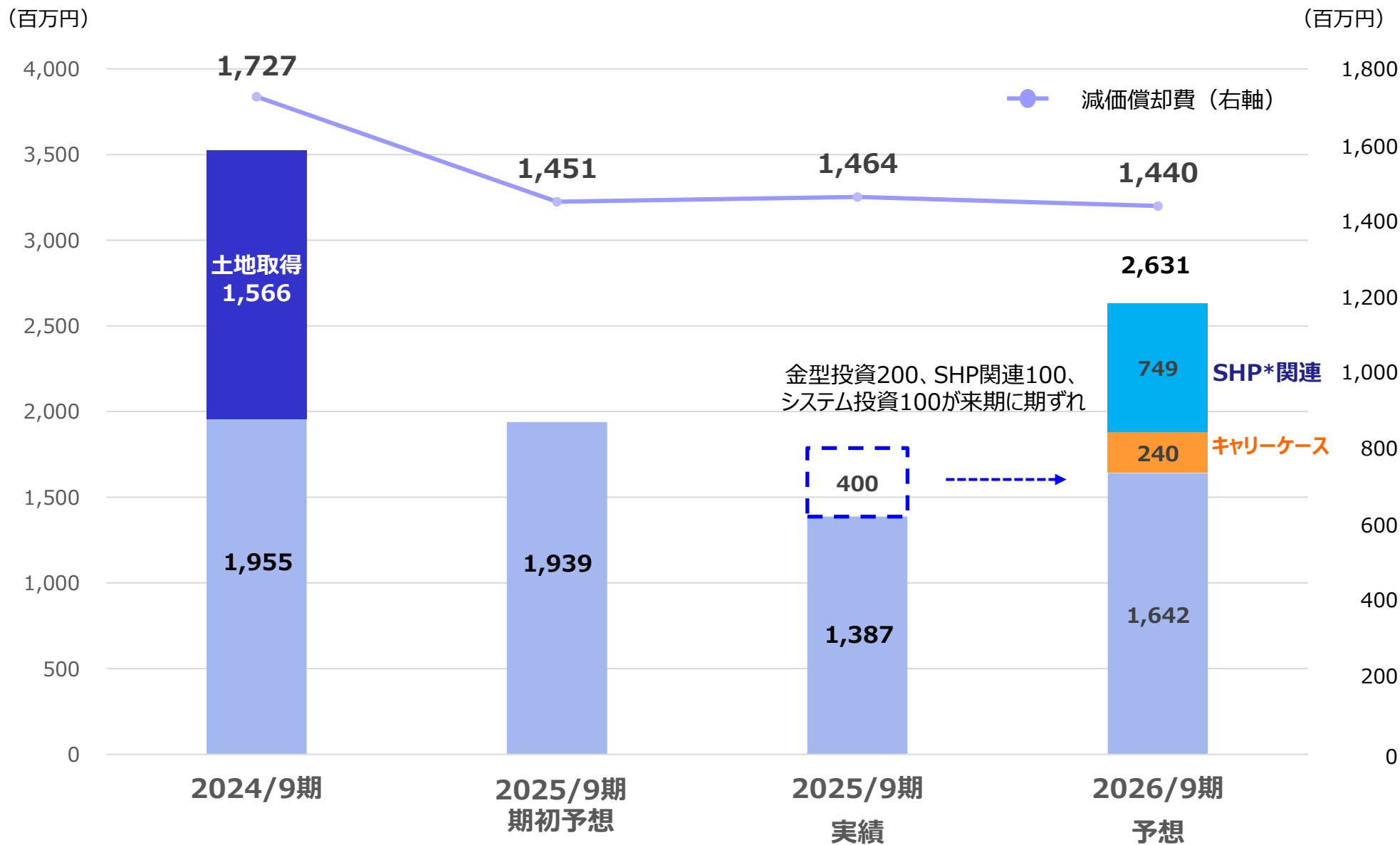


一定の前提のもと業績見通しを策定しましたが、多様なリスクに備えつつ、様々な機会を捉えて利益を増大させるため、最大限の自助努力を行います。

機会（オポチュニティ）	リスク
✓ 想定為替レートより円安 ✓ 需要回復による生産数量増 ✓ 付加価値向上や市場動向を踏まえた単価上昇 ✓ 工場を中心とする生産性向上 ✓ 様々な工夫による費用縮減	✓ 想定為替レートより円高 ✓ 地政学リスクの高まり等による景気後退 ✓ 新モデル・新グラフィックの販売低調 ✓ 自然災害リスクの高まり ✓ 関税引き上げによる需要減退

2. 2026年9月期業績予想

⑤ 設備投資・減価償却費



*SHP・・・SHOEI HELMET PARKの略